

TOHOKU!

いまこそ
応援!

東北復興イベント

- 知って、食べて、考える、被災地のこれから -

2019

2019/6/5 Wed-6 Thu 11:00-19:00

品川シーズンテラス

各会場にて開催!

東日本大震災から8年、被災地の今を知って、食べて、考える！

「いまこそ応援！東北復興イベント 2019 ～知って、食べて、考える、被災地のこれから～」を開催します。

EVENT INFORMATION

被災地産品直売会 会場：1階 エコ広場

宮城ふるさとプラザ

おなじみの仙台銘菓「萩の月」や大人気の「ずんだだんご」、牛たんおつまみや宮城の地酒などをご用意してお待ちしております。



いしのまき元気いちば

水産加工品をはじめとする石巻・三陸ブランドをまるごとみなさまにお届けします。



日本橋ふくしま館 MIDETTE

福島を代表する銘菓、話題の商品、全国新酒鑑評会で金賞を受賞した蔵元のお酒など、福島自慢の逸品を多数ご用意しております。



東松島あんでなしょっぷ まちんど

宮城県東松島市の特産品を取り扱う「東松島あんでなしょっぷまちんど」です。自慢の皇室御献上の海苔や、日本で唯一のブルーインパルスグッズなど多数揃えました。



いわてマリンフィールド

東日本大震災で被災した、ヨットのセールをリサイクルしたトートバックやキーホルダーを販売します。



パネル展示 会場：2階 アトリウム

「3.11 から8年～被災地の今」

宮城県仙台市「河北新報」の今年の3月11日を含む3日間の新聞記事の展示を通して、被災地の今をお伝えします。

未だ復興半ばの被災地の課題を知っていただき、震災から8年が経過した今だからこそ、あらためて「これからできること」を考えるきっかけやヒントにして頂ければと思います。

新聞紙面提供：(株)河北新報社

「写真で考える被災地のこれから」

震災当時と現在の写真を比較展示。その移り変わりの延長線上の被災地域の未来をともに考えたいと思います。

写真提供：(株)河北新報社

「被災地における富士通のアクション」

富士通グループが被災地域に赴き取り組んできた活動についてご紹介いたします。今後も富士通グループは、社会的責任を果たしていくため、ICTの技術を最大限に活用し、「お客様」と新たな価値を共創していくと共に、災害に対してしなやかな強さを持つ社会の実現に貢献していきます。

「被災地における丹青社のアクション」

丹青社のノウハウや経験を活かしたアクションが小さなきっかけとなり、生まれた空間やコトをご紹介します。当社は記憶を伝え、課題に対峙し、新しい地域の価値を創るため被災地の方々と共に取り組んできました。これからも情熱と創造力をもって、社会やお客様の課題解決をめざしてまいります。

特別展示 会場：2階 アトリウム



発災以来、東北の復興を願い、昇る陽の写真を撮り続けてきた写真家平林克己。2012年に写真集『陽-HARU-』を発表後、被災地の状況を伝え、関心を維持しようと国内外で開催してきた写真展は20回を数えます。8年を経た社会の意識変化に則し、昨年度よりコピーライター横川謙司と組むことで「写真と言葉によるメッセージ展」へと発展した「陽」-HARU-。もしも、同じことが自分の身に起きたら…ここで生まれる気づきを、未来の希望につないでください。

会場 品川シーズンテラス(東京都港区港南1-2-70)各会場
※JR品川駅 港南口より徒歩6分

主催 株式会社丹青社 / 富士通株式会社

後援 復興庁

お問合せ先 東北復興イベント事務局(丹青社)
tohokufukko@tanseisha.co.jp

